盛岡山車 大絵巻

2025 MORIOKA DASHI

岩手県指定無形民俗文化財

盛岡山車

盛岡八幡宮は南部盛岡藩ゆかりの鎮守様。約三百年の伝統を誇ります。盛岡八幡宮例大祭は、9月13日から16日までの四日間繰り広げられる盛大な鎮守のおまつり。宝永6年（1709）、城下23町のまちづくりが完成したのを祝って始められました。

お盆明けから作り始められた山車が一斉にお披露目となり市内一円に繰り出します。歌舞伎や歴史上の名場面が飾りつけられ、一台に200人も勢子（せこ）が付いてにぎやかに練り歩きます。

この豪華絢爛さをさらに盛り上げるのが太鼓の音色と独特の南部木遣節。

町内の子供たちは、ひと月も前から太鼓の練習を開始し、女児たちは手古舞装束で大はしゃぎです。ドンコドンコ、ドンコドンコ…「やぁれやぁれ！やぁれ！やぁれ！やぁれー！！」と太鼓をたたく子供たちのかけ声が盛岡っ子の遠い記憶を呼び覚まします。

14日昼は山車の八幡下り、15日夜は山車の大絵巻パレード、16日には八幡宮境内で古式ゆかしく流鏑馬（やぶさめ）が行われ、盛岡に秋の到来を告げます。

山車運行委員会　（公財）盛岡観光コンベンション協会

三戸町　魚ぬけ

有限会社 星川魚店

代表取締役 星川 将司

(有)星川魚店 Facebook

hoshikawa_gyoten

盛岡市本町通三丁目17番38号 TEL(622)4310 FAX(622)4527

FOR THE YEAR ONLY 7 FLOATS PARADE---NOT TO BE MISSED

Morioka Hachimangu shrine, established some 340 years ago, had been a tutelary shrine of theNambu province in the *Edo period.* The *Dashi* floats of *Morioka-Hachimangu* Festival—or *Morioka Aki-matsuri autumn festival*—the biggest festival for a tutelary deity— held annually from Sept.14 to16, started in 1709 to celebrate the completion of 23 towns around the former Morioka-jo Castle. Beautifully decorated floats, called *Nambu-furyu-dashi,* march around the city for three days. Each team spends almost half a year to complete its for-the-year-only float by featuring famous scenes of *Kabuki* plays or legendary scenes of the history. Almost 100 members of each float-team pull thier float, or perform traditional folk tunes called "*Nambu-kiyari-ondo* chants" which is the highlight of the festival. Children become Kodaiko drummers over two-weeks' training prior to the festival. Some ladies and girls march charmingly in their front row in their *Tekomai* style which is the traditional festive attire of the Shinto.

Main attractions: parades & ceremony

"*Hachiman-kudari* Parade" 1PM,Sept.14,Sun. *Hachiman-dori* St.
"*Dashi Oemaki* evening Parade" 6PM,Sept.15,Mon. *Odori* St.
"*Yabusame*" (discharging arrows ceremony on horseback)
1PM,Sept.16,Tue. Morioka Hachimangu Shrine

(MTCA©2025)

盛岡山車大絵巻パレードパンフレット　不許複製©二〇二五（公財）盛岡観光コンベンション協会山車運行委員会［協力］盛岡山車推進会［印刷］（有）大典堂印刷

もりおか歴史文化館

明治時代の山車を再現展示！
（1階は入場無料）

〒020-0023 盛岡市内丸 1-50　☎019-681-2100
【開館時間】9:00～19:00（11～3月は18:00まで）

生そば・わんこそば
直利庵

〒020-0871 盛岡市中の橋通1丁目12－13
phone 019－624－0441(代)

盛岡観光コンベンション協会
「推せんの店」

岩手競馬とジャンボに会いに行こう！日月火開催中！

公式LINEからお買い求め頂けます

元祖ジャンボ焼き鳥 鳥喜

Coca-Cola
Michinoku
Coca-Cola Bottling

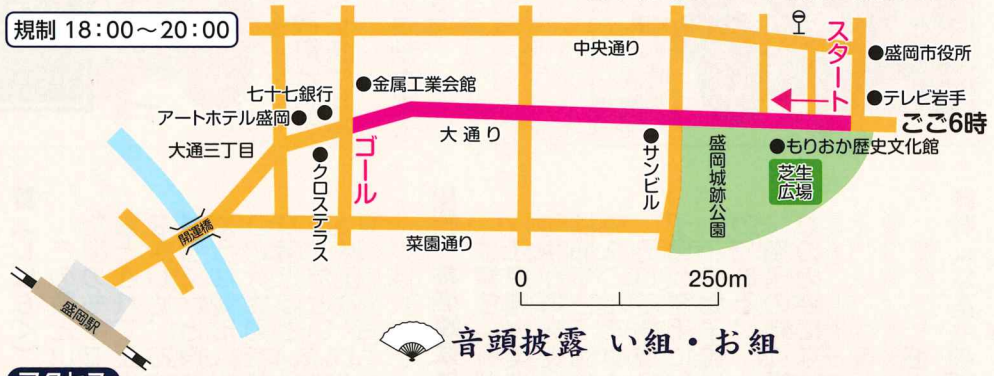
盛岡山車大絵巻パレード・出発式 9月15日(祝) ごご5時20分

パレード出発ごご6時

もりおか歴史文化館発・大通り

「大絵巻パレード」は夜のパレード。灯りをまとい夜の大通りを行列する様子は一層きらびやかです。
〈みどころ〉もりおか歴史文化館前での出発式では出演２組による「南部木遣り(音頭)」が聞かれます。
出発前には山車を間近にご覧いただけます。

※音曲・鳴り物はスタート地点から開始します。



音頭披露 い組・お組

アクセス

【バ ス】盛岡中心市街地循環バス「でんでんむし」で「盛岡駅」⑯番のりばから(10分)
「県庁市役所前」下車徒歩4分、130円
【タクシー】約10分、約1,100円(小型)
【徒 歩】盛岡駅からもりおか歴史文化館まで25分

パレード順

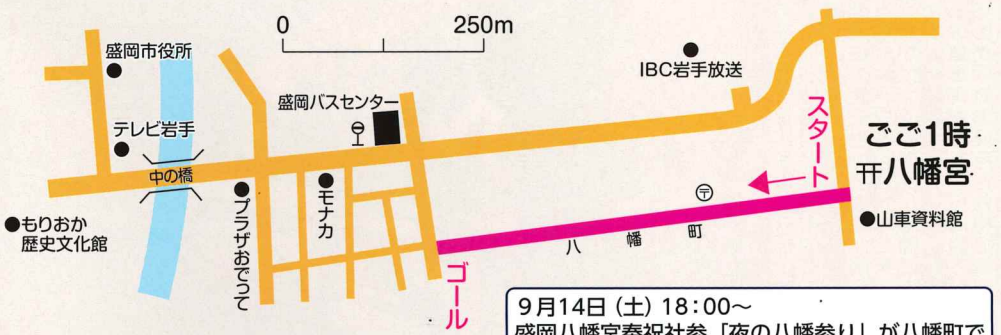
1. お 組　2. か 組　3. さ 組　4. の 組　5. い 組
6. 一番組　7. 盛岡観光コンベンション協会

ことし出演の山車が勢揃い

八幡下りパレード 9月14日(日) ごご1時出発

盛岡八幡宮表参道

昼11時過ぎから盛岡八幡宮前に出演全山車が曳き揃え。午後１時「お通り」が開始されると神輿をはじめとした行列はさながら歴史絵巻のようです。
パレードのとりを務める奉納各組山車が太鼓をとどろかせ市内巡行へと出発します。



9月14日(土) 18:00～
盛岡八幡宮奉祝社参「夜の八幡参り」が八幡町で実施されます。是非ご観覧下さい。

アクセス

【バ ス】盛岡中心市街地循環バス「でんでんむし」で「盛岡駅」⑯番のりばから(13分)
「盛岡バスセンター」下車徒歩10分、130円
【タクシー】約13分、約1,500円(小型)
【徒 歩】盛岡駅から盛岡八幡宮まで40分

パレード順

1. い 組　2. 盛岡観光コンベンション協会　3. か 組　4. 一番組　5. お 組
6. の 組　7. さ 組

岩手県指定無形民俗文化財
盛岡秋まつりを応援します。

名鉄観光サービス株式会社
盛岡支店長　佐藤　保
盛岡市大通3-3-10
(七十七日生盛岡ビル9階)
TEL 019-654-1058

おもてなし 山車 ふれあいショー 参加無料

●小太鼓打ち体験(各回とも30分前から受付) ●音頭上げ実演ほか

9月13日(土) 10:30～・13:30～・15:30～ もりおか歴史文化館前
9月14日(日) 16:15～ もりおか歴史文化館前
9月15日(祝) 12:15～ JR盛岡駅東口バスターミナル

各回30分程度

※14日・15日は山車運行状況により、時間がずれる場合があります

問合せ:(公財)盛岡観光コンベンション協会 TEL.019-621-8800/019-604-3305

い組

頭取　三浦光一

プロフィール

八幡町い組は、「盛岡市消防団第四分団」として、八幡町を拠点に活動しております。盛岡八幡宮のお膝元である門前町として『町火消し「い組」の心意気と伝統』を今に引き継いでおります。

市民の皆様に喜ばれる山車の奉納をモットーとして、盛岡の秋を彩ります。

暫（しばらく）

この暫という歌舞伎は、非常に洗練された型のものであり、場面は鶴ヶ岡神社、社頭とされて正面には悪公郷等がならび善人を苦しめ、あやわ打首というところへ「しばらく」と声をかけ、花道よりこの山車のような髪形（車びん）顔は紅隈どり七尺余りの大太刀を抜いて悪人の首をとろうと切り落とすというもので、江戸の人達の的であったといいます。

現在のスーパーマンというところです。

見返し　**お小姓弥生（おこしょうやよい）**

歌舞伎「春興鏡獅子」より。

江戸城大奥のお鏡曳きにおいて、腰元・弥生が舞を舞う羽目になってしまう。最初は恥じらう弥生だったが、次第に踊りにのめりこんでゆく。

そして祭壇の獅子頭を持った時、その獅子頭が勝手に動き出した。

この獅子頭は獅子の精を司るものだったのである。

獅子の精に憑依された弥生は、獅子そのものの姿になり踊り狂う。

盛岡市八幡町一―一七
TEL 六五一―五〇七八

盛岡観光コンベンション協会

理事長　谷村邦久

プロフィール

一九七八（昭和五十三）年の初陣以来、盛岡山車推進会他関係各位のご協力を仰ぎながら、多くの市民の皆様が自由に参加できる山車として、本年で四十五回目の運行となります。これまでに携わった多くの方々の尽力と盛岡の伝統を重んじながらも、市内外の観光客の方々に観覧いただける山車として、参加者一丸となって活気に溢れた運行を目指してまいります。

鳴神（なるかみ）

歌舞伎十八番の一つ。世継ぎのいない天皇の願いを受け、鳴神上人（なるかみしょうにん）は皇子誕生を祈願し、見事成就させる。だが天皇が約束した戒壇建立を反故にしたため、怒った上人は雨を降らせる竜神を滝壺に封印し、国は大干ばつに見舞われる。

困った朝廷は美女・雲の絶間姫（くものたえまひめ）を上人の元へ送り、色仕掛けで戒律を破らせることに成功。姫は上人が酔って眠った隙に封印を解き、竜神が現れて豪雨を降らせる。騙されたと知った上人は激怒し、髪は逆立ち着ている物は炎となって姫を逃さじと追いかける。

見返し　**牛若丸（うしわかまる）**

牛若丸（うしわかまる）は、平安時代末期の伝説的な武士で、源義経（みなもとのよしつね）の幼名。彼は優れた剣術と戦略で知られ、源平合戦において平家を打倒する重要な役割を果たした。特に、弁慶との出会いや、義経の逃避行が有名で、後の物語や演劇に多く取り上げられている。義経の悲劇的な最期も、彼の伝説を深めた。

盛岡市中ノ橋通一―一―一〇
TEL 六二一―八八〇〇
（TEL 六〇四―三三〇五）
※九月十三～十六日のみ）

鈴正の高性能木造注文住宅
ベルウッド・ハウスのすずまさ
建築・土木・設計・不動産
株式会社 鈴正
盛岡市南仙北２丁目１３－１７
TEL 019-635-2828　FAX 019-635-2827
http://suzumasa.cc/

我が町の誇り、
い組 頑張れ！
大根とりんごの
看板でおなじみ
やおや八ささき
盛岡市八幡町6-9　☎019-622-8482

か組

頭取　川端正樹

プロフィール

夕顔瀬・新田町は古くから秋田・山形方面への交通の要所として発展してきました。か組の母体である盛岡市消防団第九分団は、明治二十四年、厨川消防組として誕生。以降変革を重ね現在に至っております。

山車は昔から団員の手作りで四～五年に一度の割合で奉納しております。明治二十六年に初奉納から本年で三十回目の節目の奉納になります。

助六由縁江戸桜（すけろくゆかりのえどざくら）

日本三大仇討ちの一つである「曽我物語」を題材にした歌舞伎狂言で、成田屋歌舞伎十八番の一つです。

曽我五郎時致は花川戸の助六という侠客に身をやつし、お家再興と父の仇討ちの為、吉原遊郭へ繰り出し盗まれた源氏の宝刀「友切丸」を探す為、喧嘩を装い刀を抜かせて探し出そうとします。

助六と恋仲である三浦屋の傾城「揚巻」に横恋慕している「髭の意休」が所有する刀が友切丸と揚巻から聞き出した助六は意休を討ち友切丸を取り戻し、助六と新兵衛（兄の十郎祐成）は父の敵討ちへ出立する物語です。

むきみ隈取の助六と優美な姿の花魁揚巻を飾った山車を奉納いたします。

見返し　**勢獅子（きおいじし）**

歌舞伎演目の一つで、舞台は江戸の山王祭や吉原でのお花見の賑わいを描いた華やかな舞踊劇です。江戸のお祭りに独特な手古舞の扮装をした鳶頭や深川の芸者が木遣り、獅子舞、曽我の仇討ちを模した余興をしている賑やかな様子を再現します。

盛岡市夕顔瀬町一―四一

岩手県指定無形民俗文化財
盛岡秋まつりを応援します！
株式会社 リードコナン
代表取締役　伊東正文
〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-40
TEL：019-656-3600 / FAX：019-656-3601
URL：https://www.leadkonan.co.jp/

岩手県指定無形民俗文化財
盛岡秋まつりを応援します！
手造り菓子 梅月堂
盛岡市本町通1-9-40　TEL·FAX 019-622-5042

一番組

頭取　戸羽勉

プロフィール

天明三年（一七八三年）、時の藩主より御用火消しとして任命され「いろは組」と称し、明治九年県政へ移行する際、馬町「いろは組」は消防の創設者であることから「一番組」と改称しました。以後、消防組を「第一部」、警防団を「第三分団」としたが、昭和二十二年に消防団「第三分団」として一つに結成し、およそ二百四十二年の歴史と伝統を地域の方々に支えられながら今日に至っております。

碇知盛（いかりとももり）

祇園精舎の鐘の声諸行無常の響きあり、おごれる者久しからず、栄華の夢果てた平家一門は壇ノ浦の藻屑と消えた。時に文治元年三月二十四日の事である。今より八四一年以前　平安朝期より鎌倉期へと移る時代であった。場所は本州最南端現在の山口県下関市瀬戸の海に面した通称壇ノ浦の沖、宿命の合戦（源平合戦）の最後の場面になり義経に追われた平家総大将平知盛は安徳天皇と三種の神器を奉じ御座船を護ってここ迄来たが、もはや平家及び我が身もこれ迄と身に碇の荒縄を巻き碇をかついで壇ノ浦に散った。知盛は平清盛の四男で、安徳帝の御生母平家随一の美女建礼門院徳子は知盛の妹である。その後の天下は後白河法皇と共に源氏に帰した。

見返し　**花咲爺さん（はなさかじいさん）**

「枯木に花を咲かせた」という「翁」のおとぎ話の場面

愛犬「報恩」の物語に「欲の深い老人」の物真似失敗談を加えたもの（室町時代か江戸初期頃成る）

盛岡市肴町九―三一
TEL 六二三―二六二二

インターネットなら
いつでもお買物できます。
リボン徽章/花環/生花/花笠
http://www.kaodo.com/
花王堂本店　検索
株式会社花王堂本店
〒020-0878 盛岡市肴町11-14
電話 019-624-0878　FAX 019-623-2651

真心と信頼を大切にする
盛岡 肴町
山田洋行仏壇仏具店
〒020-0878 岩手県盛岡市肴町11-19
TEL FAX 019(622)5444
https://www.yamadayoukou.com/
営業時間　AM8:00～PM6:00

お組

頭取　宮田正基

プロフィール

「お組」として平成三年に初めて山車を奉納して以来、今回が八回目の奉納となります。「お組」の主体　盛岡市消防団第十九分団は、明治四十五年消防の前身である火盗予防組合として発足し、昭和三十年太田村が盛岡市に合併して第十九分団を拝命し今日にいたっています。梯子乗りをはじめ南部火消しの歴史と伝統の保存にも日々努力しています。

矢の根（やのね）

物語は相模国古井を舞台に、曽我五郎時致の故郷での出来事を描いています。五郎は親の仇を討つため、大きな矢の根を砥石で研いでいます。彼は敵の工藤祐経に負けない決意を持ちながらも、貧乏を嘆き、七福神の悪口を言います。そこへ大薩摩主膳太夫が新年の挨拶に訪れ、五郎の人気を称え、縁起の良い宝船の絵を贈ります。主膳太夫が去った後、五郎はその絵を敷いて居眠りを始めますが、夢の中で兄の十郎の生霊が現れ、祐経に捕らえられたと助けを求めます。五郎は驚いて目を覚まし、大根を売りに来た馬子の馬を奪って、兄のもとへ急ぎます。演題場面は、親の仇を討つ為大きな鏃を研いでいる場面です。『お組』ならではの場面をご期待ください。

見返し　**大黒様（だいこくさま）**

大黒様は、日本の神道や仏教において、豊穣や繁栄を象徴する神様です。特に商売繁盛や家庭の幸福をもたらす神として信仰されています。大黒様は、通常、太った体型で、笑顔を浮かべた姿で描かれ、手には大きな袋を持っています。この袋には、財宝や食物が詰まっているとされ、福をもたらす象徴とされています。また、彼は七福神の一柱としても知られ、正月やお祭りの際に特に崇拝されます。大黒様は、豊かさや幸運を求める人々にとって、非常に重要な存在です。

盛岡市上太田八千刈五三―六
TEL 六五九―〇一一二

の組

頭取　吉島敏夫

プロフィール

盛岡八幡宮の北鳥居前を本陣として、準備・山車製作・太鼓練習をしてまいりました。

平成六年から参加で、本年二十八回目の盛岡八幡宮例大祭への山車奉納になります。

五條大橋（ごじょうおおはし）

見返し　**常盤御前（ときわごぜん）**

風流は、京都　鴨川に掛かる　五条大橋での義経と弁慶の出会いの場面です。

源氏の大将、源義朝（みなもとのよしとも）の九男として生まれましたが、鞍馬山（くらまやま）で密かに育てられ、そこで修行を積んだ牛若丸は、都の五条橋の上で、武蔵坊弁慶（むさしぼうべんけい）と出会います。弁慶は書写山（しょしゃざん）や比叡山（ひえいざん）で修行した僧でしたが、千人斬りの願掛けをして、五条橋の上で行き交う人に戦いを挑むという恐ろしい男です。いよいよ千人目という時、笛を吹きながら五条橋にやってきた牛若丸に挑みますが、牛若丸は橋の欄干をひらりひらりと飛び移りながら弁慶の大薙刀（おおなぎなた）をかわし、ついには弁慶を降伏させてしまいます。ここから弁慶は生涯牛若丸の家来となりました。

源義朝と側室常盤御前（ときわごぜん）の間に生まれた牛若はやがて源義経（みなもとのよしつね）となり、治承・寿永の乱（じしょう・じゅえいのらん）で大活躍。しかし、異母兄（いぼきょうだい）である源頼朝（みなもとのより）と対立して追われる身となりました。義経は弁慶と奥州藤原氏第三代当主　藤原秀衡（ふじわらのひでひら）を頼り、岩手県平泉町に来て、最後は衣川館（ころもがわのたて）で自刃（じじん）したと言われております。

見返し　常盤御前は、牛若丸のちの源義経の実母であります。

盛岡八幡宮北鳥居前
TEL 六二五―七三五〇

祭用品・頭巾お仕立て
手古舞衣装お仕立一式
石岡呉服店
盛岡市鉈屋町1-18
☎・FAXとも 019-622-2633
地図

AEDはフクダ電子
全団体盛岡山車にはAEDが搭載しております
医療機器専門メーカー
FUKUDA DENSHI
盛岡営業所　☎019-656-2200

楽しい食事に・・・ COFFEE & RESTAURANT
ランチタイムメニュー
平日限定
AM11：30～PM1：30
Aランチ生姜焼き
他、多数ございます。
バンプス
Bumps
盛岡山車を応援しています
（貸切パーティー承ります）
〒020-0142 盛岡市稲荷町16-32
TEL&FAX 019－643－5081

盛山会さ組

頭取　佐倉　勉

プロフィール

昭和五十六年、盛岡山車を盛んにする会「盛山会」を発足し「山車で繋ごう市民の心」をスローガンに誰でも参加できる山車として平成元年の初奉納以来、皆様に支えられ本年で三十七年目を迎えます。

菅原伝授手習鑑　車引
（すがわらでんじゅてならいかがみ　くるまびき）

梅は匂よ桜は花よ　人は心よ振りいらぬ・・人とは、常盤木の松。梅王丸・松王丸・桜丸・・とは、三ツ児の兄弟でその名は菅丞相が命名し、舎弟として育てた三人です。

菅原道真の太宰府左遷事件・・・道真伝説をもとにした歌舞伎（車引）。同時にスタートした三人が別々の道を歩み、別々の形の誠を見せる。特に松王の立場の誠は、旧主への恩義と現在の主人への義務という複雑な柵の中、たった一人で世間・運命・時代という大きな力と戦い耐え忍ぶ常盤の松。梅花の香りも、桜の花も、松の翠が際立たせるもの。

熱き梅王を無言で留める、松王丸の真とは・・・。暖かい心を秘めた名舞台です。

見返し　羽衣（はごろも）

五世・尾上菊五郎が新古演劇十種「羽衣」として演じた。

節は羽衣伝説で、白龍という若者が松の枝にかかる羽衣を見つけることに始まる物語で、白妙の富士が霞に浮かぶ三保の松原、波が打ち寄せる夕凪の浜の恋物語、吹く春風に天女の舞と、心を揺さぶる演出がなされる物語である。

盛岡市神子田町一―四一
TEL 六二二―四二六五

岩手県指定無形民俗文化財

盛岡秋まつりを応援します。

消防防災用品総合商社

互光商事株式會社

創業昭和22年

〒028-3621矢巾町広宮沢11-501-14（流通センター南側）
TEL 019-639-0505　FAX 019-639-0808　URL http://www.goko-shoji.co.jp

手古舞衣裳・お支度
（子供から大人まで承ります）

盛岡八幡宮祭典「てこまい」姿

あなたの佳き日の
想い出を大切に……

Pearl パール 美容院

盛岡レンタルコスチューム協会会員
ブライダル一級コンサルタント
総本店・ブライダルサロン
●ご予約・お問い合わせは……
〒020-0042 盛岡市新田町7-29
019-653-5666

巴漆工
TEL. 019-622-5334 FAX. 019-622-5310
MAIL. data@tomoemax.co.jp URL. https://tomoemax.co.jp
■本　社　工　場　〒020-0885 盛岡市紺屋町5-32
■南大通BASE　〒020-0874 盛岡市南大通1-10-24

河南中学校指定靴販売店
靴の店 宝屋支店

宝屋靴店
祭用草履・太鼓バチ取り扱い
神子田朝市でも営業中
寺の下 千手院前　TEL.019-651-1216

慶応時代から続く「街の植木屋さん」
お庭のことなら豊香園におまかせください。

エクステリア　和風・洋風造園　公共工事
有限会社 豊香園
〒020-0015 岩手県盛岡市本町通二丁目5-10
TEL：019-622-3866　FAX：019-622-3917

TOYOTA SHARE

アプリひとつでスマートに！ トヨタのカーシェア

24時間いつでも出発・返却が可能！
深夜の利用も、早朝の利用も便利。

公式WEBサイトはこちら

岩手県指定無形民俗文化財 盛岡山車 を応援しています

Hualien

花蓮－盛岡

手足情深・情比石堅
友情は兄弟のように深く 石よりも堅い

盛岡花蓮友好協会

足場からイベント会場設営まで
— なんでもお貸し致します —
仮説ハウス・トイレ等各種リース業
有限会社 メンテナンス不来方
●お気軽にお電話下さい●
岩手県紫波郡矢巾町白沢第2地割177
TEL (019) 697－1386
FAX (019) 697－1393
携帯 090－3365－0162

大切な家族だから、
安心・ゆとりのある
新しいくらしを…。
サービス付き高齢者向け住宅
デイサービス併設
ケアヴィレッジ よろこび
重介護・認知症のことなど、お気軽にご相談下さい。
盛岡市三本柳2地割32-1
TEL019-681-8071 FAX019-681-8072

SIENTA NEW
家族で笑った！
シエンタ！

SIENTA JUNO

T-MIG 岩手トヨペット
本社／盛岡市上田2丁目19-40 TEL.019-651-3211
https://iwate.toyopet-dealer.jp/

合同会社 リンクス
LYNX

株式会社 新鋭

快適環境サプライヤー
TriS
株式会社トライス
設備のことなら何でもご相談ください
TEL.019-604-7511
本社 盛岡市盛岡駅西通二丁目17番10号

お客様にご満足していただける国内外の旅行のサービスを提供させていただいております。
お気軽にご相談下さい。
keiai 株式会社ケイアイトラベル
〒020-0011 岩手県盛岡市三ツ割3丁目17番30号
E-mail：kawamura@keiait.co.jp
FAX：019-681-0108

TSK TOHOKU SHEET KOGYO
テントの
トータルプロデュース
LOSBERGER TENT
イベントの型を変える、ロスベルガーテント レンタル中

東北シート工業株式会社
〒020-0846岩手県盛岡市流通センター北1-4-9 TEL.019-614-0132 FAX.019-614-0137

あなたの住んでいる街を一緒に守りませんか？
団員募集 盛岡市消防団
盛岡市総務部
危機管理防災課消防対策室
TEL 019-626-7404
岩手県指定無形民俗文化財「盛岡山車」を応援します

屋根・外壁塗装
NEXT CREATE
SINCE 2020 MORIOKA
ネクストクリエイト　代表 吉田　祐希
TEL.090－7790－8427

CRUISE
車買取
新・中古車販売
まかせて安心
どんなことでもご相談ください
エイトクルーズ
盛岡市茶畑1-19-2（茶畑交差点）

monaka
モナカ
OPEN 10：00 — CLOSE 19：00
※各店舗で営業時間が異なります
〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1丁目6−8
TEL：019-622-0168　FAX：019-622-0170

盛岡山車を応援します
お車の事でしたらお気軽にどうぞ
有限会社 親和自動車整備工場
24時間365日ロードサービス
盛岡市神子田21-10（朝市入口）
TEL 019-651-5488　FAX 019-651-1541

街なかさんさ踊り
2025〜'26
盛岡市の街なかで、年がら年じゅう
さんさ踊りをたのしむべ〜
サッコラ チョイワ ヤッセ
さんサンデー
第3日曜は、さんさの日
開催スケジュールはこちらから▶
主催・問合せ　(公財)盛岡観光コンベンション協会　TEL.019-621-8800（第2火曜日を除く平日9:00〜17:00）

古き良き伝統の中に
新しい文化を見い出す
ご家族の想いを大切に
皆さまの想いを形に
㈱駒木葬祭
本社
盛岡市南大通二丁目2−6
☎ 622-2343

あなたへ、マルのあふれる暮らしを。
株式会社マルノ
MARUNO INC.
本 社　〒020 0805 岩手県盛岡市東新庄1-1-25
TEL　(019) 623 5351 ㈹
FAX　(019) 624 5235

保険クリニック
盛岡インター店
盛岡フェザン店
盛岡バスセンター店
3世代保険サービス
アイドカ®

盛岡南ドライビングスクール®
全車種教習実施中
盛岡市本宮字林崎1-1
TEL　019-658-1011
FAX　019-658-1013
URL　http://www.moriokaminami.jp

TORYO KOHSOKU
『新価値』＝デジタル×アナログ
情報はNew Valueへ
＼ホームページリニューアル／
杜陵高速印刷株式会社　TEL(019)651-2110
https://www.toryokohsoku.com

SAN-ESU CONSULTANT INC.
未来の国土をデザインする。
総合建設コンサルタント
サンエスコンサルタント株式会社
代表取締役　鈴木　清士
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目5−8
TEL：019-635-0194　FAX：019-656-0195
https://www.sss-c.jp

人も地球も健康に
Yakult
ヤクルトマン
岩手ヤクルト販売株式会社
〒020-0125 盛岡市上堂4-3-4　TEL.019 (641) 8960
https://www.yakult-east.jp/iwate/

一般住宅建設の事なら何でもお気軽にお電話下さい。
睦建設（むつみ）
盛岡市津志田中央1丁目1番31号
TEL 019-637-1050